

コロナ禍での公民館の開館

新磯公民館長 幟川泰夫

公民館は、コロナウイルスの感染拡大により3月2日(月)から休館していましたが、緊急事態宣言の解除とともに、公民館の休館期間は当初の予定より短縮され、6月19日(金)から開館することとなりました。

休館中の3ヶ月間は公民館事業の中止はもとより、地域の新磯桜まつりをはじめ、相模の大凧まつり、相模川芝ざくらまつりなどの皆が楽しみにしているイベント等がすべて中止となり「楽しみのない春」となってしまいました。

公民館もまた、年度末の公民館まつりが中止となり、コロナウイルスの感染拡大の真ただ中で迎えた新年度もスタート間もなく、公民館専門部の皆さん方に企画して頂いた各種事業も8月31日(月)までは中止といったことが決定され、大きく出鼻を挫かれてしまいました。

そして、この間には緊急事態宣言の発令により、不要不急の外出制限が続き、皆さん方も友達に会うこともままならず、運動不足やストレスが溜まったりと、大変な時を過ごされたことと思います。

この間、休館となった公民館は、皆さん方の笑顔や声もなく、いつもの活気が失われ、閑散とした時間が過ぎ、経験をしたこともない緊急事態の中で、皆さんの趣味趣向が変わってしまったり、生活スタイルが変わったりと、このことによって「公民館離れ」が進むのではと心配しながら、私も職員も一日も早い開館に向けて準備作業に追われる日々が続きました。

そして、最近になり、新規の感染者も減少傾向をたどる様になり、私たちの生活も「新しい生活様式」を求められながら少しずつ元の生活に戻りつつあります。

こういった中で、公民館は開館しましたが、コロナウイルスの感染が収束を迎えたわけではなく、まだまだマスクを着用し「3密」に配慮しながらの生活が続きそうであり、今後もウイルスの2波、3波の襲来も懸念されています。もう少し、皆さん一人ひとりが力を合わせ再び感染が拡大しないように頑張りましょう。

公民館が、再び閉まってしまわぬよう、今までと違った少し窮屈な利用の仕方になるかもしれませんが、皆さんの御理解と御協力をお願いします。そして、公民館の主催事業も9月に実施できるものから、段階的に準備を進めていきたいと思っております。

そして、伝統を誇る新磯公民館は再び、笑顔の中で、学び、集い、ふれあう、心の拠り所としての地域の拠点づくりを目指していきたいと考えています。引き続き、皆さんの御協力をお願いします。

結びになりますが、この休館中、皆さんが楽しみにされていた各種事業が中止になってしまったことや、公民館に関わる情報が十分行きわたらなかったことなど、深くお詫び申し上げます。

令和2年7月1日